



調音室の 録音 遺跡



にや...

グ...

サ...

サ

私...

ビッ

ビッ

ぬ

あ...あれ...

ぬる...

ドクッ

何で...

にや...

にや

トクニ...

ドク...

せ...

ぐちゃ...

ぶ



中に何が
入って……?

すり

ぬるん…

とっしん

ぶっ

ぐちゃ



ひあ…!?
なっ…何これ…!

ひいっ

とっしん

ぶじゅじゅい

ぐちゃ

ぐちゃ

ぐちゃ

ぶっ

ぶっ

ひうあ…!?
ひい…!?

止ま…止ま…
止ま…止ま…



止まって!!
止まって!!
止まって!!

びゅんびゅん
びゅんびゅん
びゅんびゅん

ちゅん
ちゅん
ちゅん
ちゅん
ちゅん

びゅん

びゅん

びゅん

びゅん
びゅん
びゅん

びゅん

イク
イク
イク

嫌
嫌
嫌

かさ

ああ



は

そういえば...

ああ

す...
は

私...

何でこうなったん
だっけ...

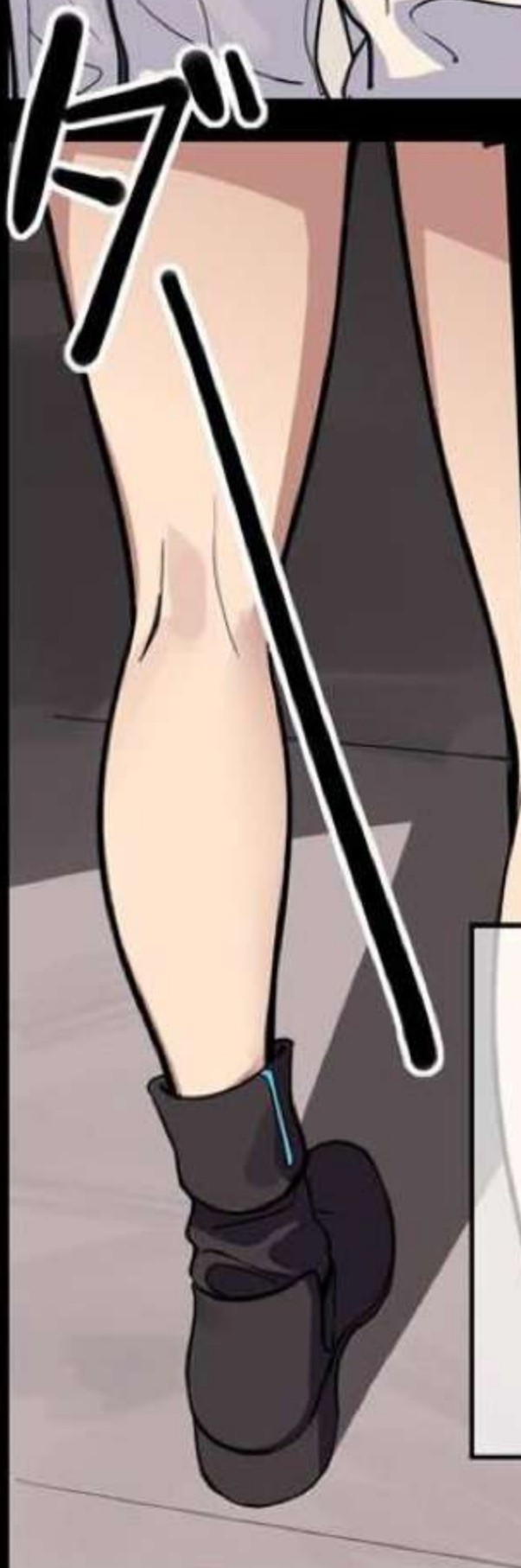


遺跡の周辺は比較的安全なエリアだから
少人数で探索することになって

調査に協力したのは
私とノア、そして…



確か…ヒマリ部長に
新たに発見された遺跡の調査を依頼されて…



ヒマリ部長がゲートを
ハッキングして…

それから私は遺跡の中に…？



なぜかパニースーツを着たトキ



!?

アイト...

空間が変化して...

な何...!?

+

あ...

す...

あ...

が...

ぐ...

ひっ!?!
何これ!?!

く...

あ...

ぐ...

あ...

あ...

あ...

あ...



ユウカちゃん

ぱ

か
ち
ゃ



ノア...?
私意識が飛んで...
そっちは大丈夫?!

はー!
大丈夫です...

こちらは
精神に干渉するタイプではなかったの
どうにか...

はっ



ドアに入った瞬間...
私たちのいた
空間が歪んだ...?

アトラハシースの箱舟だって
そんな事できないわよ!

は...

は...

とん

パッ

ピッ



ユウカちゃん
私たちが入る前に設定した
トラッカはまだ使えますか？

え、ええ…

ここから近いのはトキね
ヒマリは…速すぎるわ
この地下空間
どこまで続いているのよ？！

急ぎましょう…

は

そこにも…
いるかもしれません

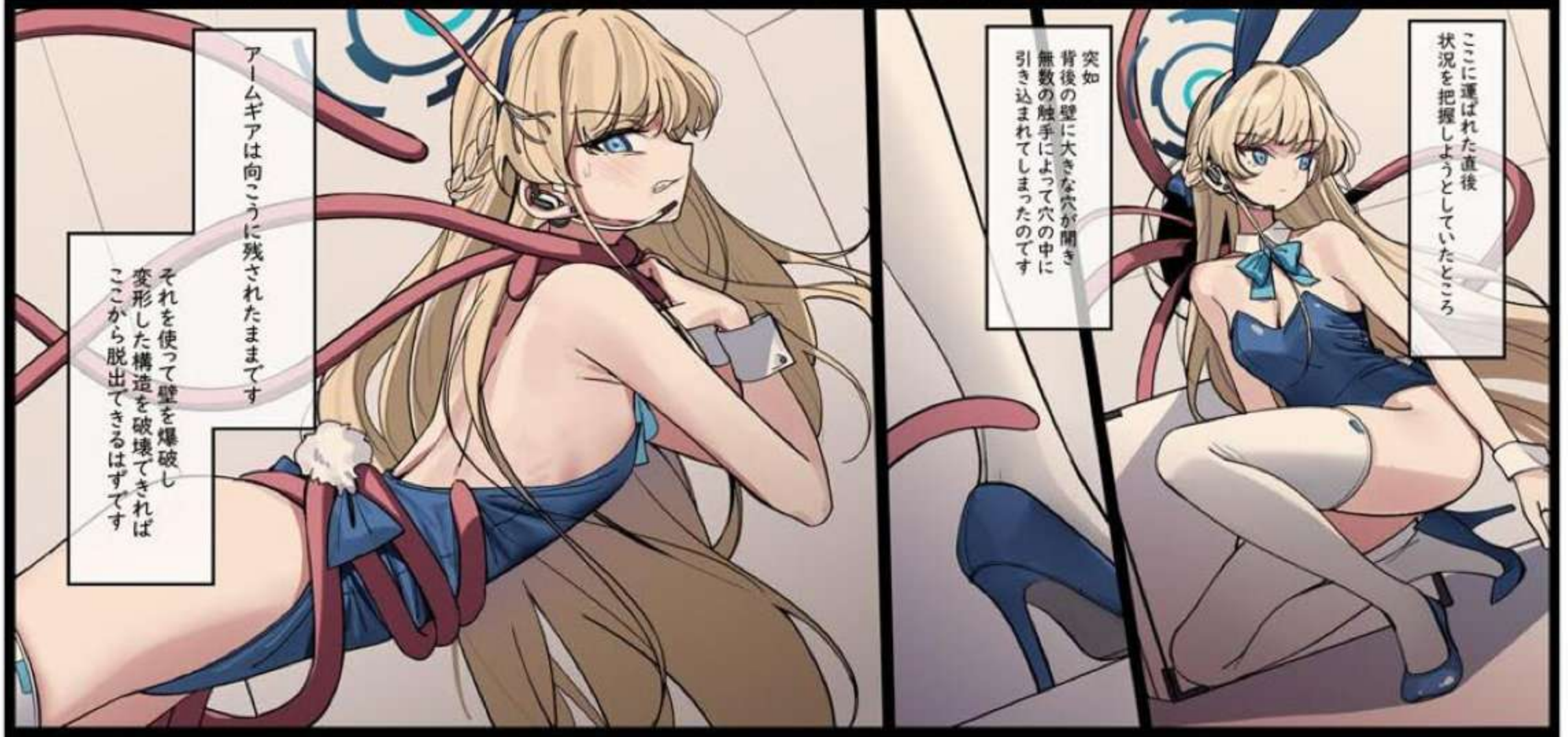


数分後

トキ、これは…

こんにちは
ノア先輩とユウカ先輩
…見ての通り

私は今壁の穴にハマってしまって
一人では抜け出すことができません



ここに運ばれた直後
状況を把握しようとしていたところ

突如
背後の壁に大きな穴が開き、
無数の触手によって穴の中に
引き込まれてしまったのです

アームギアは向こうに残されたままです

それを使って壁を爆破し
変形した構造を破壊できれば
ここから脱出できるはず



この壁
アームギアで破壊できるのかしら……

はい
腰の可動域から推定するに
この壁はさほど厚くないようです



トキさんが壁に閉じ込められてから
その後何か変わったことはありませんか？

はい
特にありません

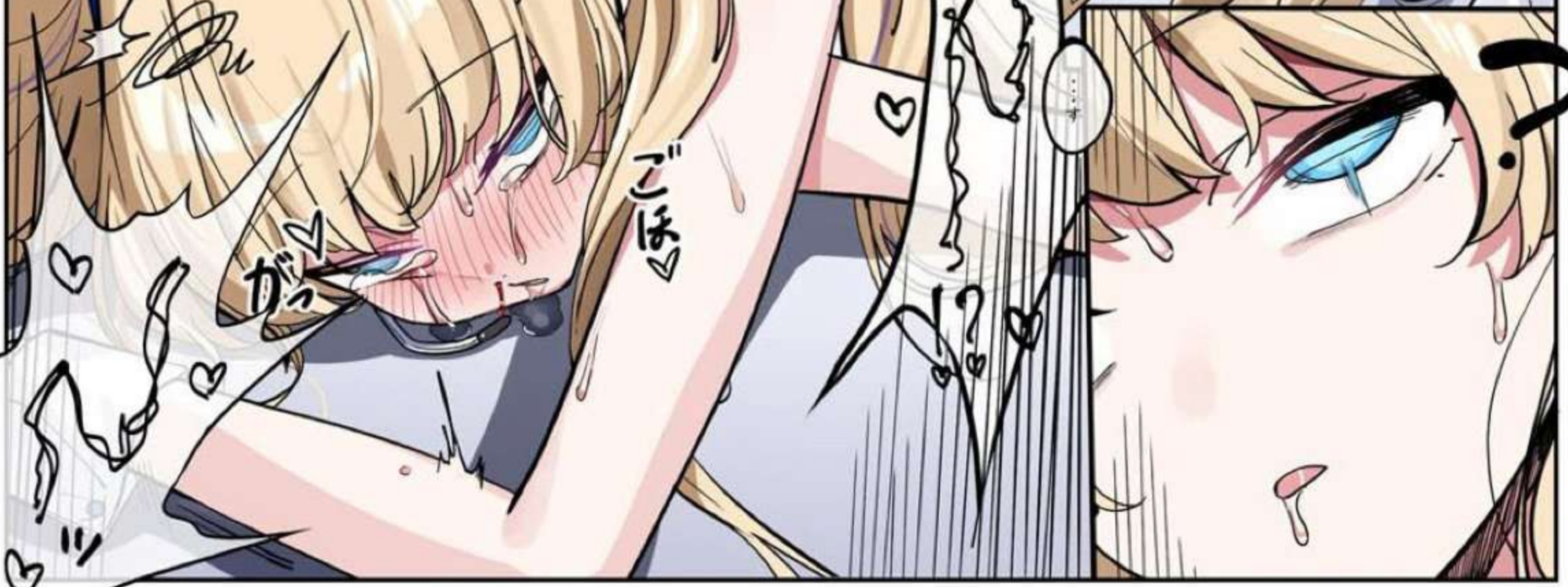


へえ
実際に使ってみるのは初めてだけど
案外簡単なのね



トキさん……
少し嫌な予感が……







さっきユウカちゃんを受けた
攻撃に似ていますね

敵の中には精神や知覚に
強気に干渉できるものがあるようです

じゃあトキは攻撃を受けてるのに
それを感じてないってことか



か壁の中には
違和感なんて……



は……

私は……
問題ありません

迅速に……体勢を立て直します



急いでヒマリ部長の所へ向かわなければ……
彼女は私と違って弱いので……



いいから無理しないで！

まったく……
単独行動は危険だから
これからはお互い離れないように気を付けるわよ



い、急いで助けないと.....!

にやる..

する..



畏だった
初めから全部



ポタ

ぽたぽた

ポタ

だから私たちを一度分断し
最も戦闘能力の高いトキさんを
最初に攻略した



彼らは
私たち四人を同時には
掌握できない

ぐっ……
解け……な……



もう反撃の手立てが……



あとはヒマリ部長を餌に
私たちをここに呼び寄せただけ

いや……だめっ
そこは……!!

ぬにゅ♡



んあああ

びしょ

びしょ

びしょ

うおおおお

する...

ぶっ

びしょ

びしょ

びしょ

んあああ

てんてんてん

てんてん

んあああ







トキたちがここに到着してから私に対する攻撃が少し緩んだ

いまなら...どうにかハッキングできるかもしれない



空間が...

そもそも...

あの場所は
本当に現実...？

つづく...



こんにちは、中村六翹です。
今回もお読みいただきありがとうございます。
初めての漫画誌はいかがなさいますでしょうか。
今後は続きを出させていたいただきたいです。
もうあとがきを書く時間すらありませんでしたので、
またどこかでお会いしましょう。

長門三郎の 調査記録

初出 コミックマーケット103
2023年12月30日
著者 中村六翹
アイデア提供 オナニー皆勤賞
日本語監修 大木星
スペシャルサンクス tatsumi、DJ喜茶、ToYa
発行 朝花社同人
X @NakamuraRohane
g631300128@gmail.com



